

会議議事録

				記録者	仲村 堯之
供 覧	部長	課長	課長補佐	主査・係長	G員
件 名	第7回龍ヶ崎市最上位計画策定審議会				
年月日	令和4年10月28日(金)				
時 間	午後2時～午後3時				
場 所	龍ヶ崎市役所 5階 第1委員会室				
出席者	最上位計画策定審議会委員 鈴木 麻里子 会長、谷口 佳菜子 委員、田中 治彦 委員、中村 友則 委員、 武藤 成一 委員、池永 直子 委員、北川 滋也 委員、披田 信一郎 委員 萩原市長 事務局 木村市長公室長、岡野企画課長、小室企画課長補佐、鈴木副主幹、記録者				
欠席者	鈴木 麻美 委員(代理出席 鈴木 威氏)、郡司 悦子 委員、櫻井 惇 委員、 渡邊 孝 委員、石引 公子 委員、				
情報公開	<input type="checkbox"/> 公 開	非公開(一部非公開を含む)とする理由		(龍ヶ崎市情報公開条例第 条 号該当)	
	<input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開	公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)			
発言者	内 容				
	開会 市長あいさつ 会長あいさつ 議事録署名人の指名(鈴木会長、北川委員、池永委員)				
鈴木会長	それでは議題に入りたいと思います。 まず「パブリックコメントに提出された意見とその意見に対する市の考え方について」、事務局から説明お願いいたします。				
事務局	≪資料に基づき説明≫				
鈴木会長	はい、ありがとうございます。 ただいま事務局よりご説明ありましたが、ご質問等ありましたらお願いいたします。 披田委員、お願いします。				

<p>披田委員</p>	<p>最初にご説明でも触れられましたが、第一次・第二次ふるさと龍ヶ崎戦略プランとの比較の数字を言われました。パブリックコメント自体形骸化しがちな中で、一定の方々が意見を書いてくれていて、件数自体はともかく、いろいろな意見があったということを通称して評価したいと思います。</p> <p>その上で、市としてはまず指摘通りだというのは直しつつ、残りの部分については市側の考え方を述べて、その他は今後の検討にしますという、通り一遍の形で対応されたということになっているかと思います。</p> <p>致し方ないところはあるのですが、感想としては、ご説明の中で直した部分にせよ、その他にせよ、否定できる理由がないのというような言葉もあり、全体として淡々とといいますか、とても受け身であるという印象を受けました。どういふものであれ、意見が出され、ここで具体的に表現を変えたりとか、大きく方向を変えるには至らなかったにせよ、その気持ちのようなものを受けとめつつやっていただきたいと感じました。その中で、考えが違ふのであれば違ふと言えればいかと思います。ここは公の場で、審議会の場でもありますので、市民などに対してもう少し気持ちを受け止め、しっかりやりますと言っていたきたいという思いを持ちました。</p> <p>その点については感想ですが、計画全体として、市民の声も聞きながら、積極的に今後も市民と向き合いながらやっていくという姿勢であるはずなので、気にかかったということを感じてお伝えさせていただきます。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。これについてはいかがでしょうか。では事務局お願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今般の計画の策定全般ですが、市民からの声をよく聞いて、それを反映して汲み取った上で、この計画に反映させるということの方針としてやってきたところではあります。</p> <p>今回のこのパブリックコメントについても48項目の意見がありまして、中には質問の意図が読み取りにくい部分もあったのですが、一つ一つきちんと読み込んで、それに対してこういうことを言いたいのかなという考えを丁寧に汲み取った上での回答になっているという点につきましては、ご承知おきいただければと思います。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>ありがとうございます。その他にご意見はございますでしょうか。</p> <p>特にないようですので、それでは議題の2「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030(案)に対する答申について」に移りたいと思います。</p> <p>令和3年3月26日付での諮問に対する、本審議会としての答申を示して参りたいと思います。</p> <p>前回の審議会での決定に従いまして、委員の皆さんから答申に記載すべき付帯意見を提出いただきました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>皆さんからのご意見や、10月5日の勉強会を踏まえまして、事務局で案を作成していただきました。さらに私の方で調整させていただいたものが答申案として皆様に配布されております。</p> <p>それでは答申案につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>《資料に基づき説明》</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>皆様から質疑、ご意見ございましたらお願いいたします。</p> <p>披田委員お願いいたします。</p>
<p>披田委員</p>	<p>ご説明にあったように、先日の勉強会で表現なども議論しました。本日の資料の内容</p>

	<p>で、最終的には了承したいと考えています。</p> <p>シンプルにした分、少し分かりにくいところがあるかもしれませんが、この内容については、この審議会を通じて初めて市長に最後まで同席していただいていますので、市長を中心にしっかりと理解していただきたいと思っています。</p> <p>その中で、事務局から説明あった中の、2つの文章についてです。</p> <p>まず、「そのため、本計画の市民等への積極的な情報発信を推進するとともに、具体の事業実施に当たっては、その計画段階から市民意見の聴取に努め、市民等にとって納得性の高い取組を推進すること。」という3行に取りまとめでいただきました。</p> <p>市民等への積極的な情報発信という点については、市政全般に関わることで、様々な事業が進んでしまってから、こういう形で進めますということではなく、いろんな意見が出せるようにという思いを込めています。それから私個人の委員としての想いで言えば、今回取りまとめた計画案についても、概要版なども含めて市民にしっかり届けるといこと、そして職員もきちんとそれを共有できるような仕掛けを今後どうしていくかという話になるかと思いますが、概要版や政策情報誌等で提供するなど含めて、しっかり対応して欲しいと考えています。</p> <p>それから2段目の「具体の事業実施にあたっては、計画段階から市民意見の聴取に努め」というのは、勉強会での議論にもありましたが、最上位計画であるが故に内容が相当抽象的であるという部分についてになるかと思っています。</p> <p>今回のパブリックコメントの個別の意見などについても、これは今後の具体の中でということになっているように、1億円以上の事業費を要するものに絞るといようなやり方もあるかと思いますが、3年ごとに策定していくアクションプランに着目して、そこで市民にチェックをしてもらおうというような、そういった考えが含まれてこういう表現になっているということを改めて、再確認していただきたいと思っています。</p> <p>そして、結果として市民等にとって納得性のいく高い取組を推進すること、直近では再検証の報告がなされた道の駅がそうでしょうし、駅名の改称についても様々賛否があるときに、どういう手続きでその意見を聞くのか、また最終的な意思決定をどうするか等々、様々な議論がこれからもあるでしょうし、特に人口減少をどう増加に転じていくかというのはこの審議会の議論の中心だったと思います。長期的トレンドとしては人口減少が進み、財源も明らかに絞られてくるその中で、何をやり何を諦めるのか、その市民との合意をしっかりと図っていくということを経て、納得性の高い取組ということになっていくかと思っています。</p> <p>そういう意味で、このたった2行半の文章ですが、この案にまとめる間に様々な議論を重ねてきたということと、審議の全過程を通して様々な方向から意見が出されたということ。少なくともこういった考えでこの答申という形にまとめられていると私は理解しています。</p>
鈴木会長	<p>披田委員のおっしゃる通り、文章としてはわずか数行ですけれども、そこには1年半の我々の思いが込められているという、非常にありがたいご意見かと思っています。</p> <p>ぜひよろしく願いいたします。</p> <p>その他ございますでしょうか。北川委員お願いいたします。</p>
北川委員	<p>今の披田委員が仰ったところと重なる部分があるのですが、やはり計画段階から市民の意見を積極的に聴取していただきたいと思っています。</p> <p>この会議の中でも何度か話しましたが、例えば加古川市の例であるとか、積極的にデジタルツールを使って、それを政策に反映するというような仕組みを作られているところも出てきています。</p>

	<p>今回、アンケート調査から始まって、なかなか数が集まらないとか、途中で高校生の意見を聞いたりといろいろな手段を続けて出されてきたのですが、まだ仕組みとしてきちんちり周知されていないために、苦戦されていたのかなと感じました。常に市民の意見がどうかということを集める、聴取する仕組みというのを、デジタル的な観点からも含めて、ぜひ検討いただきお願いしたいと思います。</p>
鈴木会長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 その他でございますでしょうか。田中委員お願いいたします。</p>
田中委員	<p>取りまとめなどもいただきましてありがとうございました。 市民アンケートにはありましたように、このまちは非常に住みやすいというような固定的な意見がある反面、少し魅力に欠けるとか、将来が不安だといったような意見もありましたので、その辺で幾つか期待したいと思います。 1つ目は若者に関することです。 高校生や大学生など、若い人達の定住と、若者たちの社会参加、政治参加などを促して、さらに若者たちから新しいアイデアをどんどん集めてほしいということです。そうした取組はSDGsの観点からも推奨できるものと考えます。 それからもう1つは企業についてです。SDGs パートナーシップ制度のキックオフイベントでも、いろいろな企業が来られましたが、それぞれ素敵なアイデアをもって多方面で活躍されておられました。 もう1つは当市民団体についてです。市民活動センターで毎年2月に商業施設で実施している活動フェアについて、もう少しSDGsと絡めて実施すると若い人が参加してくれると思います。 そういった形で、市民と市民団体、それから企業や若い人、こういった方々からアイデアをどんどん集めていくということが大事なので、そうした考えを強調しているということが分かるように広報していただけたらと思います。</p>
	<p>ありがとうございます。ほかにご意見などよろしいでしょうか。 3名の委員の方々からありました通り、この答申は簡潔に表現してはおりますが、熱い想いを込めている、ということを最後に市長にお届けできればと思っております。 それでは答申自体の内容について、ご異論修正等ございませんでしょうか。</p> <p>～異議なしの声～</p> <p>はい、ありがとうございます。 それでは当市案の内容をもって当市議会の答申といたします。 それでは答申書を萩原市長へお渡しいたします。</p> <p>～鈴木会長より萩原市長へ答申の提出～</p> <p>それでは本日のこの答申をもちまして、当審議会での審議は終了となります。長期間にわたり、委員の皆様には円滑な審議にご協力いただきありがとうございました。 進行を事務局へお返しいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ここで、萩原市長よりお礼のごあいさつがございます。</p>
	<p>市長あいさつ</p>

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、当審議会での次期最上位計画策定に関する審議は終了となります。</p> <p>「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030」については、今後、12月の市議会に上程し、その議決をもって決定する予定となっておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>令和 4年 月 日</p> <p style="text-align: right;">会 長 _____</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 _____</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 _____</p>	